

しいの実

第32号

鈴鹿市立鈴西小学校

学校教育目標「夢と笑顔と緑がいっぱいの学校」

本年度も、最後の月を迎えました。保護者・地域の方のご理解とご協力のお陰で、感染症予防の基本的対策（手洗い・換気・マスク着用・三密の回避・消毒）を取りながらの生活でしたが、二週後には卒業式、そして三週後には修了式を迎えられるところまで来ました。あともう少し、ご家庭でも感染症予防にご協力いただきますようお願いいたします。



■ 六年生にインタビュー

給食の時間に動画配信という形で六年生へのインタビューが行われています。インタビューの内容は、「小学校生活で頑張ってきたこと」「これからの目標」「在校生へ一言」です。

毎日3名程が答えてくれています。頑張ってきたことは「勉強」が多いです。将来の夢は、人それぞれで、まだ未定という人もいます。在校生には、激励の言葉をかけてくれています。画面越しにはなりますが、一人ひとりの顔がよくわかるので、動画配信というのもいいのではないかと感じています。



■ 六年生を送る会

感染症の拡大で一時は中止も検討しましたが、実施をおくらせ、内容を合唱など声を出しての活動やそのための練習ができないことを受けて変更しての開催となりました。

一・二年生は六年生へのお祝いメッセージ、三年生は学校に関するクイズを事前に録画しておいて、この日に動画配信として視聴しました。六年生への感謝の気持ち・憧れの気持ちのこもった心温まるメッセージを見ることができました。クイズは事前に六年生にアンケートを取って作られたものだったので、六年生も結果がどうなったのか、関心をもって答えていました。

四年生は、六年生代表児童との対抗戦を企画してくれました。さすが鈴西小の子ども、既製品ではなく、自分たちで木を切って準備してくれたようです。結果は六年生の貫録勝ちでしたね。

五年生は送る会の企画・運営という大仕事をしつつ、出し物として有志によるダンスを披露してくれました。また、一～五年生の代表児童が、なわとびとフラフープ回しで六年生代表児童に挑戦するコーナーもありました。結果ですか？聞かぬが花、ということになりました。

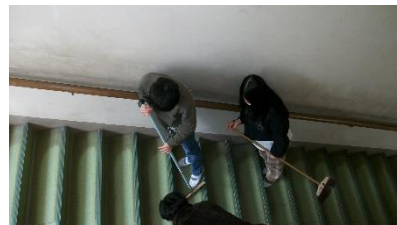
最後に、六年生から扇風機カバーが在校生に送られました。その時に「誰かがミスした時は、このカバーを見て、お互いに



カバーし合うようにしてください。」というメッセージも添えてくれました。

■ 六年生による奉仕作業

六年生は、送る会の午後は奉仕作業をしてくれました。6年間過ごした学び舎の気になる場所を選び、きれいにしてくれました。さすが六年生、どのグループも集中して作業してくれました。お陰で校舎及び周辺がきれいになりました。



■ 学校運営協議会

本年度の総括として、2月8日に第6回学校運営協議会が開催されました。中心議題は学校関係評価書に基づく学校評価をしていただくことです。さまざまなご意見をいただきましたので、詳しくは本校Webサイトから「令和3年度第6回学校運営協議会報告」をご覧くださいければと思いますが、いくつかのご意見を掲載させていただきます。

・あゆみ渡しの時に、パソコンでデータやグラフを見せてもらいながら個人懇談をしてもらった。数値やグラフで見ることができ、子どもの学力が分かってよかった。

・「全国学力調査」が始まってしばらくたった。知識・理解を問うことだけでなく、「今求められている学力は何なのか?」、「子どもたちに本当につけたい力は何か?」に視点を当て、将来を見通した学力を考えていく時期ではないか?

・学年通信に子どもの学校での様子が掲載されていた。学校に来る機会が減った中で、子どもの様子が分かっていいと思う。

いただいた評価を来年度の学校経営に活かしていきたいと思います。委員の皆様におかれましては、1年間ありがとうございました。